

CAD Japan.com  
特別セミナー

# BIM/CIM リクワイヤメント 対応 土木講座

参加費無料 / 事前予約制

会期

11月10日 火 10:00~17:30

●主催:株式会社大塚商会

●協賛:オートデスク株式会社

## ～原則BIM/CIM化に対応しよう!～

2023年度には国土交通省直轄の全詳細設計と工事(小規模を除く)で原則BIM/CIM化される計画です。この3年後の計画に備えるため土木関係の皆様向けにセミナーを企画しました。BIM/CIM対応するためには、国土交通省の要求するリクワイヤメントに対応することがカギとなってきます。BIM/CIM対応するためのセミナーを数多くご用意しました。ぜひご参加いただき今後の貴社のBIM/CIM対応のご参考にしてください。

### お申し込みのご案内

お申し込み締め切り 11月5日(木)



<https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/20/1110cad/>

本イベントは、オンラインでの開催となります。本セミナーのご受講には、PCやタブレットなどの端末とインターネット環境が必要です。([Zoom]を使用して配信します)

#### お申し込みの注意事項

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響、および感染防止の観点から、やむを得ず配信方法の変更や急きょ配信を中止する場合がございます。ご了承ください。
- 抽選結果ならびに当選者への受講証は、開催日の前日までに、順次E-mailにて送信させていただきます。
- お申し込み多数のセミナーにつきましては、抽選とさせていただきますが、さらに一定数以上のご応募があった場合、早期に募集を締め切らせていただく場合がございます。
- 締め切り日時を過ぎてからの申し込みにつきましては、受講のご案内を配信できない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- コンサルタント、同業のお客様のお申し込みはお断りしています。あらかじめご了承ください。
- 本セミナーの録画・録音・画面キャプチャーなどの複製および、その転載・引用などのあらゆる二次利用を禁止します。

●会社名、製品名などは、各社または、各団体の商標、もしくは登録商標です。 ●掲載の商品、サービスは予告なく仕様変更、終了となる場合がございます。



◆お問い合わせ

株式会社大塚商会 CADプロモーション部 建設プロモーション課

TEL:03-3514-7815 営業時間/ 9:00~17:30(土・日・祝日を除く) E-mail:cad-kensetsu@otsuka-shokai.co.jp

# セミナーのご案内

セミナーごとにどのリクワイヤメントに対応しているかを記載していますので、ご参考の上、お申し込みをお願いします。

## 要求事項(リクワイヤメント)

No.	項目	対象	No.	項目	対象
①	段階モデル確認書を活用したBIM/CIMモデルの品質確保	業務・工事	⑥	契約図書としての機能を具備するBIM/CIMモデルの構築	業務・工事
②	情報共有システムを活用した関係者間における情報連携	業務・工事	⑦	異なるソフトウェア間で互換性のあるBIM/CIMモデル作成	業務・工事
③	後工程における活用を前提とする属性情報の付与	業務・工事	⑧	BIM/CIMモデルを活用した効率的な照査	業務・(工事)
④	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	業務・工事	⑨	BIM/CIMを活用した監督・検査の効率化	(業務)・工事
⑤	BIM/CIMモデルを活用した自動数量算出	業務・工事	⑩	後段階におけるBIM/CIMの効率的な活用方策の検討	業務・工事

●10:00~10:05 (5min) ご挨拶 BIM/CIM対応整備について 株式会社大塚商会

<b>A01</b>	<b>対象リクワイヤメント</b> ③④⑧⑥	<b>原則CIM化への備え～令和2年度 実施方針から読み解く対応のポイント</b>
🕒 10:05 ? 10:55 (50min)		国土交通省が打ち出した“2023年 原則CIM化”。これまで機会の無かった、設計者・施工技術者にも、そろそろ対応への準備が必要となってくることでしょう。「CIMリクワイヤメントとは何か?」「新しい適用方針は?」などの解説を交えながら、原則CIM化に向けたオートデスクソリューションのポイントをご紹介します。  講師:オートデスク株式会社 技術営業本部 松本 昌弘 氏
<b>A02</b>	<b>対象リクワイヤメント</b> ③④⑤⑥⑧⑨⑩	<b>橋梁BIM/CIMリクワイヤメント対応におけるCIMモデルの照査方法と3DPDF活用法</b>
🕒 11:15 ? 12:00 (45min)		2023年の鋼橋上部工を皮切りに原則義務化されるBIM/CIM対応。オフィスケイワンは線形座標と設計情報から橋梁の3Dモデル、設計照査シート、3D寸法、属性情報を自動作成する橋梁CIMシステムシリーズを開発・提供しています。PDFベースで属性情報付与と3次元契約図書の作成を支援する「CIM-PDF」と合わせてご紹介します。  講師:オフィスケイワン株式会社 保田 敬一 氏

## ランチタイム

<b>A03</b>	<b>対象リクワイヤメント</b> ②③④⑤⑧⑨⑩	<b>属性を利用したBIM/CIMモデルの情報連携 ～CSVを利用して簡単に属性を付与する「コツ」～</b>
🕒 13:00 ? 14:00 (60min)		BIM/CIM業務・工事では情報の引き継ぎが重要になります。国土交通省のリクワイヤメントにも後工程での活用や情報連携が設定されています。CTCでは、属性を中心とした「GEORAMA」(形状モデリング)「Navis+」(属性モデリング)「CIM-LINK」(情報共有)を利用した情報連携をご提案しています。本セミナーでは、その中で重要となる「CSVを利用した属性付与のコツ」を中心にご紹介します。  講師:伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 建設ビジネス推進部 吉田 哲也 氏
<b>A04</b>	<b>CIM導入ガイドライン:</b> 機械設備編の拡充	<b>なぜ、Inventorなのか? 製造系3D CADからBIM/CIMデータを作成する、これだけの理由</b>
🕒 14:20 ? 15:10 (50min)		CIMの円滑な導入を目的に、水門・ポンプ設備・トンネル設備のBIM/CIM対応が進められる中、CIM導入ガイドライン(案)第7編 機械設備編が拡充と見直しされました。ガイドラインだけでは読み取れない“機械設備CIMモデル作成のポイント”をご紹介します。  講師:オートデスク株式会社 技術営業本部 下仲 智也 氏
<b>A05</b>	<b>CIM導入ガイドライン:</b> 機械設備編の維持管理	<b>機械設備BIM/CIMの維持管理における、点群データの活用を想定</b>
🕒 15:30 ? 16:20 (50min)		CIM導入ガイドライン(案)第7編 機械設備編には、維持管理段階でのCIMモデル活用として点群データとの統合・活用方法の検討も記載されています。3Dスキャナーの特性や点群活用ソフトでできることを中心にガイドライン記載項目に即した活用方法をご紹介します。  講師:株式会社大塚商会
<b>A06</b>	<b>対象リクワイヤメント</b> ⑨⑩	<b>BIM/CIMリクワイヤメントにおける点群データの利活用 ～点群の有効的な活用とは?～</b>
🕒 16:40 ? 17:25 (45min)		BIM/CIM原則化が2023年度を目標に進められています。BIM/CIM対応で点群データを活用する場面が増えてきています。そこで本セミナーでは点群データにスポットを当ててどのようなBIM/CIMでどのように活用できるかを出来形管理を中心に、クラウドを使った検査、VR対応などもご紹介します。  講師:福井コンピュータ株式会社 マーケティング推進課 谷澤 亮也 氏